

# 持続可能な農林漁業に 向けた最前線の取り組みと課題 ～陸域の企業視点を中心に～



会場：東京大学（対面のみ）

## Location

東京大学 弥生キャンパス  
フードサイエンス棟（1階）  
中島董一郎記念ホール

東京都文京区弥生1-1-1



第一次産業、特に農業は、人手不足や高齢化に加え、気候変動などの自然環境の変動に直面しており、深刻な危機に立たされている。これらの課題への対応には、人材育成だけでなく、たとえば農地の現状把握などのモニタリングや、気候変動に対応し環境保全に寄与する未利用資源の普及や活用などが不可欠である。これらに関して多くの企業が積極的な取り組みを行っている。当会に関連するプロジェクトでは、成果の社会実装およびそれに資する提言を目標として設定しており、積極的な社会連携が不可欠である。そこで当会では、スタートアップ企業を中心に、各企業が推進する最先端の取り組みを紹介し、今後の持続可能な農業の進むべき方向について議論し、知見を深めることを目指す。

（プロジェクト詳細は末尾に掲載）

14:30- 挨拶/研究主旨説明

東京大学大学院農学生命科学研究科 香坂 玲  
教授

14:35- 開会挨拶

東京大学大学院農学生命科学研究科 社会連携リエゾンオフィス  
オフィス長/副研究科長 岩田 忠久氏

14:40- 東京大学大学院農学生命科学研究科  
社会連携リエゾンオフィス オフィス長/副研究科長  
岩田 忠久氏

大学院農学生命科学研究科における社会連携  
リエゾンオフィスの活動紹介

14:55- 農林水産省 大臣官房  
みどりの食料システム戦略グループ 地球環境対策室長  
続橋 亮氏

農業分野のJクレジット・みどり協力プランに  
基づくASEAN展開について

15:15- 自己紹介

15:50- 株式会社TOWING 取締役COO  
木村 俊介氏

脱炭素・減化学肥料を両立し農業生産性を向上  
する高機能バイオ炭“宙炭（そらたん）”の普及

16:10- 東京大学大学院農学生命科学研究科 教授  
株式会社Quantomics取締役  
岩田 洋佳氏

大学発の起業でデータ駆動型の育種・栽培  
管理の実現を目指す

16:30- サグリ株式会社  
営農事業部事業責任者  
小林 健史氏

農業分野における衛星データの活用と  
脱炭素事業への取り組み

16:50- 株式会社イノカ CEO  
一般財団法人ロートこどもみらい財団 理事  
高倉 葉太氏

『環境移送技術』の可能性

申込

対面開催、招待制となります。  
お申し込みはこちらのQRコードへ  
お願いいたします。

本セミナーについてのお問い合わせ：  
東京大学大学院 特任研究員 祖父江  
ysofue@tマクグ.ecc.u-tokyo.ac.jp



当会はJST共創の場形成支援プログラム  
[JPMJPF2110] の支援を受けたものです。  
またこの会は、環境省環境研究総合推進  
費[JPMEEERF20241M03]の研究会も兼ね  
ています。



<https://forms.gle/ArE4EXne7sLadPME6>